



東洋水産から株主の皆様へ

第60期 決算のご報告

2007年4月1日から2008年3月31日まで

証券コード：2875



東洋水産株式会社



株主の皆様へ



代表取締役社長

堤 殷

株主の皆様におかれましては、日頃よりご支援とご厚情を賜り心より感謝申し上げます。さて、当社第60期（2008年3月期）の決算を終えましたので、営業の概況をご報告申し上げます。

当社は1953年の創業以来50余年にわたり、顧客第一主義に基づき、「お客様により良い商品、サービスを提供することにより社会に貢献する」べく、創業時の水産物に始まり、1956年の魚肉ハム、ソーセージ、1962年のインスタント袋麺、1975年の生麺「3食入り焼そば」、1978年の「赤いきつね」並びに1980年の「緑のたぬき」の発売などマルちゃんブランドのもと、「安全でおいしい商品」「確実なサービス」をお客様にお届けすることを目指してまいりました。

グローバル化の進展により、これまでの産業構造が大きく変化している現在、食品業界は、個人消費の低迷、原材料価格の高騰、販売競争の激化と大変厳しい環境にあります。今後も法令を遵守し、「安全」、「安心」な商品をお客様にお届けするという基本を守るとともに、更なる発展を目指し、消費者ニーズにマッチした新商品の開発並びに育成、生産・販売・物流体制の効率化など「将来の収益確保」「経営効率の向上」を進めてまいり所存です。

これからも株主の皆様のご支援、ご指導を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

連結決算ハイライト

売上高

314,744

百万円

営業利益

20,222

百万円

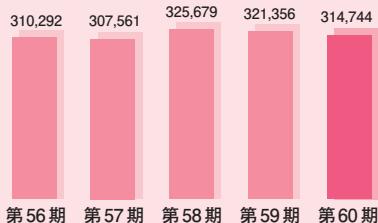
経常利益

22,623

百万円

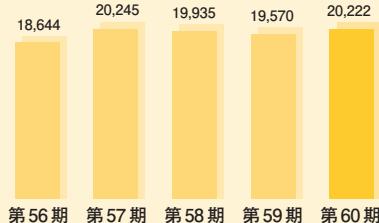
売上高の推移

(百万円)



営業利益の推移

(百万円)



経常利益の推移

(百万円)



営業の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、当初は企業収支の改善に伴う設備投資の増加や雇用情勢の改善等を背景として個人消費が伸び、景気は緩やかながらも回復基調にありました。しかし、原油価格の高騰により原材料価格が上昇し商品価格に転嫁される中、個人消費の伸びは横ばいとなり、企業収支も弱含みで推移するなど景気回復は減速傾向となりました。米国の経済につきましては、サブプライム住宅ローン問題の影響により景気回復は減速傾向にありました。

当食品業界においては、原油価格の高騰、原材料価格の高騰を受けた商品価格の値上げ、少子高齢化による市場の

縮小傾向などから企業間競争は一層激しさを増し、依然として厳しい状況が続いております。また消費者の食の安全面に対する厳しさはより一段と増しており、当業界は今まで以上に品質管理の強化への対応、環境問題への対応など企業の社会的責任がますます求められております。

このような状況の中、当社は、「食を通じて社会に貢献する」「お客様に安全で安心な食品とサービスを提供する」ことを責務と考え取り組んでまいりました。また厳しい販売競争に対応するため、グループの生産・物流体制の再構築を進め、より一層のコスト削減並びに積極的な営業活動を推進してまいりました。

次期の見通し

次期（2009年3月期）の見通しにつきましては、わが国の経済情勢は原油をはじめとした原材料価格の高騰や物価上昇など先行きが不透明であり、予断を許さない状況で推移するものと思われます。米国経済は住宅建設の減少等により景気は不透明感を増しており、サブプライム住宅ローン問題を背景とした景気の下ぶれには留意する必要がありますものと思われます。

当食品業界におきましては、原油価格高騰や世界的な穀類の高騰が企業収益へ与える影響は大きく、企業は商品価格の値上げを余儀なくされ、厳しい市場環境にあります。また、食の安全・安心など企業の社会的責任がますます求められていくものと考えております。当社におきましては、さらに地域別・商品別の販売促進を強化した積極的な営業活動を実施するとともに、前期と同程度の経常利益の達成を目指しております。また費用面でもより厳しい販売競争

に対応するため、物流の再構築・生産部門での徹底したコストの削減に注力していく所存であります。

以上により、通期の売上高は325,000百万円、営業利益は20,700百万円、経常利益は22,700百万円、当期純利益は12,500百万円を見込んでおります。なお、対米ドルの換算為替レートは100.19円で想定しております。

次期見込（2009年3月期）

連結売上高	…	325,000	百万円
連結経常利益	…	22,700	百万円
連結当期純利益	…	12,500	百万円



**最新鋭の設備により即席麺の生産効率化。
新工場により品質管理を向上。
東日本全域をカバーし、省力・省エネを実現。**

●館林工場（即席麺新工場）

設置ライン

即席麺（カップ麺、袋麺、ワンタン）

生産品目

赤いきつね、緑のためき 他

供給地区

東日本全域（東北～中部地区）

設備の特徴（計画）

- ①大型直線ラインの省力、省エネ設備
- ②衛生と品質管理を重視した最新の設備



群馬県館林市、2009年夏稼働予定

●埼玉工場（生麺工場）

設置ライン

生麺類（蒸麺、茹麺、生麺 他）

スープ類（液体、粉末）

生産品目

焼そば3人前、生ラーメン3人前、玉うどん3人前 他

供給地区

東日本全域（東北・関東・甲信越・静岡）

設備の特徴（計画）

- ①トレーサビリティシステム導入による、品質管理を重視した最新生産設備
- ②熱源に天然ガスを使用し、排熱回収による環境配慮型省エネ設備



埼玉県日高市、2010年5月完成予定（改築）



商品ラインナップ

即席麺類

和風麺シリーズ



「赤いきつねうどん」



「緑のたまき天そば」



「黒い豚カレーうどん」

お馴染みの和風麺シリーズは、ますますラインナップも充実して、ご好評をいただいています。大盛タイプやミニカップ、地域の嗜好に合わせた商品など、お客様のご要望に合わせたきめ細かな対応を行っています。

麺づくりシリーズ



「麺づくり鶏ガラ醤油」



「麺づくり合わせ味噌」



「麺づくり鶏だし塩」



「麺づくり濃厚豚骨」

生麺の味わいを再現したノンフライタイプのカップ麺。スープの味に合わせて麺の太さを変え、ラーメン屋さんの味わいを目指しています。

昔ながらシリーズ



「昔ながらの中華そばしょうゆ」



「昔ながらのみそラーメン」



「昔ながらのとんこつラーメン」

発売以来、順調に売上げを伸ばしているノンフライ袋麺シリーズ。麺は北海道小麦100%使用。だしの効いたスープが麺の美味しさをさらに引き立てます。

チルド食品



「えびシューマイ」



「ジューシー肉餃子」



「かにシューマイ」

好調に推移している“えびシューマイ”“かにシューマイ”に加え、“ジューシー肉餃子”も大好評。パッケージに石塚英彦さんを起用して、おいしさ度をアピール！厳選した豚肉に背油を加え、ジューシーな味わい。ロースト醤油とゴマ油を隠し味にして、風味よく仕上げました。

生麺

焼きそば



「焼きそば3人前」



「塩焼きそば3人前」



「醤油焼きそば3人前」

発売から30年以上愛され続けるマルちゃん“焼きそば3人前”。2007年1月より“醤油焼きそば3人前”を加え、シリーズ品を充実させました。

ラーメン



「北の味わい醤油とんこつ」



「北の味わいざるラーメン」



「サラダdeラーメン」

年間を通じて主力商品に成長した2食生ラーメン、“北の味わい”に新たなシリーズ。“サラダdeラーメン”はお子様人気のラーメンを、サラダの素材にしました。ドレッシングと合わせて野菜も美味しくいただけます。

加工食品

魚肉ソーセージ



85g×3本

「栄養機能」と「安心・安全」を兼ね備えたソーセージ。

調味料



「だしのだし素80g」



「チャーハンの素 焼豚」

軽風味豊かなだしのだし素。顆粒タイプの4袋入り。

スープ



「もずくスープ」



「カップ入りめかぶとオクラのスープ」

健康ブームにのって順調に推移しているフリーズドライスープ。

【特集】

いつでも炊きたてのおいしさ 「あったかごはん」がさらに拡大。 “おいしさと品質”でお客様の高い評価と支持を獲得。

新製品、パラパライス「五目ピラフ」と「ドライカレー」、「五目釜めし」と「とり釜めし」も登場

安心・安全のおいしい商品開発で、いつまでも
愛され続けるマルちゃん製品。

当社では、定番の麺製品だけではなく、加工包装米飯にも注力しております。「あったかごはん」シリーズを製造している無菌包装米飯の第二工場が06年に完成。供給体制も整い、食の個食化や多様化でますます高まる米飯のニーズに応えています。お米に対して負荷の少ないHTST（高温短時間）製法で製造。酸味料や保存料を全く使用していないので、お米本来の「香り」と「旨味」が活きた無添加ごはんです。また、個々のトレー容器にお米を充填してから直接炊き上げる「個食トレー炊飯」のため、一粒一粒お米が立っており、ふっくらと自然な炊き上がりとなります。



2月にはレトルト米飯で「とり釜めし」と九州限定「かしわめし」
3月はパラパライスシリーズとして「五目ピラフ」「ドライカレー」が新登場

新たなラインナップとして、2月、3月に新製品が登場、また人気商品のあったか赤飯、ふっくら五目釜めし、ふっくらおこわもリニューアルしました。豊富なラインナップになり、毎日食べても飽きない、そんなニーズを形にしました。主食としてのお米の見直しもされている中で、さらに需要が見込まれます。また、簡単、便利に一手間かけて、さらにおいしいを提案することで、お客様のニーズにお応えします。

簡単レシピ！

一手間かけてさらにおいしさアップ

新発売の五目ピラフとドライカレー。
フライパンに油をひいて、卵と一緒に炒めてみませんか。
より一層パラパラ感がアップ！
たったこれだけでさらにおいしくいただけます。
ぜひお試しください！

新発売



当社の加工包装米飯製品

無菌包装米飯



あつたかごはん

酸味料を全く使用しないので、お米本来の「香り」と「旨み」が活きた無添加ごはんです。当社独自の製法で、ごはんがつかれることもなく、一粒一粒ふっくらとお米が立っています。



あつたかごはん 新潟産コシヒカリ

新潟産コシヒカリ100%で作った美味しいごはん。お米本来の「味」と「香り」が活きています。



あつたかごはん 魚沼産コシヒカリ

原料米に日本で一番美味しいと言われる魚沼産コシヒカリを100%使用しました。

レトルト米飯（トレー入り）



あつたか赤飯

厳選された国産もち米と小豆で作ったこだわりの赤飯。着色料を一切使用しない、小豆本来の自然な色合いの赤飯です。



ふっくら かしわめし(九州限定)

国産米100%、国産鶏肉100%使用の本格派かしわめし。鶏と昆布のだしが効いたあつさり風味の醤油味です。具材には、鶏肉の他にごぼうと椎茸を入れました。



玄米ごはん

山形県産はえぬき米100%使用した玄米ごはんです。独自の製法により、ふっくらと食べ易く炊き上げました。

レトルト米飯（パウチ）



味の一品赤飯

国産もち米100%で作ったこだわりのロングセラー商品。着色料を使用せず、小豆の煮汁だけで色付けしました。



味の一品五目釜めし

人参、こんにゃく、ごぼう、油揚げ、椎茸入り。鰹と昆布のだしでふっくら炊き上げました。



非常災害用ごはん

特殊フィルム使用により、非常食として3年間保存できます。国産うるち米を100%使用しております。熱湯12分であつあつの美味しさです。

品質管理

無菌包装米飯は高度な細菌管理加工が要求される商品です。当社はISO9001、ISO14001を取得した工場で製造し、原料米の受け入れ検査やトレーサビリティの徹底、また、当社独自に残留農薬検査を実施する等、安全・安心な商品供給に努めています。

伸び続ける加工包装米飯

加工包装米飯市場規模 推移



当社加工包装米飯の売上高 推移



市・場・動・向

加工包装米飯市場は、核家族化や少子高齢化などによるライフスタイルの変容、また、製品の品質・安全性の向上により市場は年々拡大しています。当社は、2001年に無菌包装米飯市場に本格参入するとともに、レトルト米飯ではトレー商品を追加発売し、市場を上回る伸びを示しています。

マ × 知 識

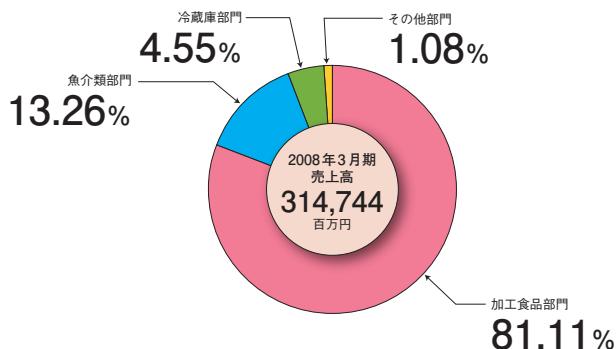
無菌包装米飯とレトルト米飯の違い

無菌包装米飯とはトレーに生米を充填し、加熱殺菌処理を行ってから無菌状態の中で炊飯密封したものです。これに対してレトルト米飯とは、容器に蒸し煮米を充填し、密封後にレトルト（加圧加熱）殺菌を施したものです。それぞれに利点があり用途も異なりますが、白ごはんには無菌製法、赤飯などの混ぜごはんにはレトルト製法が適していると言われています。



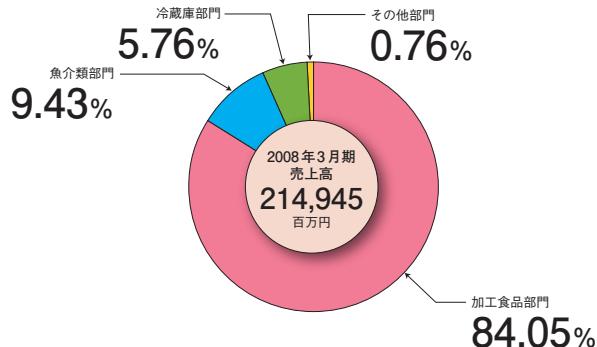
セグメント情報

連結売上高構成比



単体売上高構成比

〈ご参考〉



加工食品部門

売上高 **255,298** 百万円



国内即席麺事業のカップ麺のうち、主力商品の和風麺においては、「赤いきつねうどん」「緑のためぎ天そば」などを対象とした「TU→YU」オリジナルグッズプレゼントキャンペーン”等の積極的な販売促進並びにノンフライ中華麺の「麺づくり」の「発売15周年販促企画」が寄与し順調に推移しましたが、原料である小麦価格の高騰を受けた価格改定による販売環境の

変化の中、カップ麺全体では微減となりました。袋麺においては、市況全般では低調な推移でしたが、高価格袋麺の「まぜそば」「ざるラーメン」等が貢献し、袋麺全体では増収となりました。並びに、ワンタン類においても新製品の「トローワンタン 旨味しお味」等が寄与し増収となりました。

生麺事業の売上は、価格改定の影響はありましたが年間を通じた寒暖差のはっきりとした気候に加え、新製品・リニューアル品が好調に推移し全体では前年を上回る実績となりました。冷凍食品事業の売上は、業務用調理品は減収でしたが、業務用冷凍麺の順調な推移により全体では前年を上回る実績となりました。米飯事業の売上は、需要層の拡大に対応した「5パック入り商品」や「新米セール」等の販促を推進した結果、増収となりました。その他加工食品においては、魚肉ハム・ソーセージ類が昨今の消費者の健康志向を受けて堅調に推移しました。

以上の結果、国内の加工食品部門の売上高は

総じて横ばいに推移しました。

また、海外売上高は順調に推移しましたが、円高の影響から減収となりました。

これらの結果、加工食品部門全体の売上高は前連結会計年度に比べ0.2%減収の255,298百万円、営業利益は前連結会計年度に比べ1.9%増益の16,963百万円となりました。



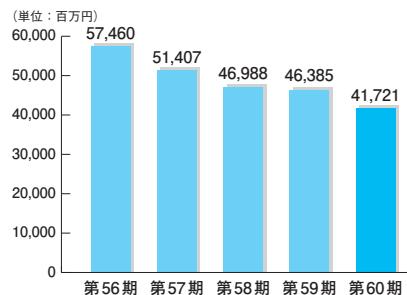
魚介類部門

売上高 **41,721** 百万円



魚介類部門は、中国・ロシア・欧米諸国の旺盛な買付意欲により水産原料が高騰し、輸入量は減少しました。

また、国内水産市況は引続き低迷し取扱高が減少した結果、売上高は前連結会計年度に比べ10.1%減収の41,721百万円となりました。魚卵、海老等の高付加価値で利益率の高い加工品の販売を強化、また、すり身の市況が堅調に推移した結果、営業利益は前連結会計年度に比べ94.7%増益の1,510百万円となりました。



冷蔵庫部門

売上高 **14,335** 百万円



冷蔵庫部門は、世界的な水産物価格の高騰が依然として続いたことに加え、中国産冷凍食品類に対する消費者の買い控えから、中国産貨物の輸入が大幅に減少し取扱量に影響を受けました。これらを受け営業活動の強化を図りましたが、代替貨物の集荷に苦戦し、保管料収入が減少いたしました。この結果、売上高は前連結会計年度に比べ3.4%減収の14,335百万円、営業利益は前連結会計年度に比べ32.7%減益の910百万円となりました。



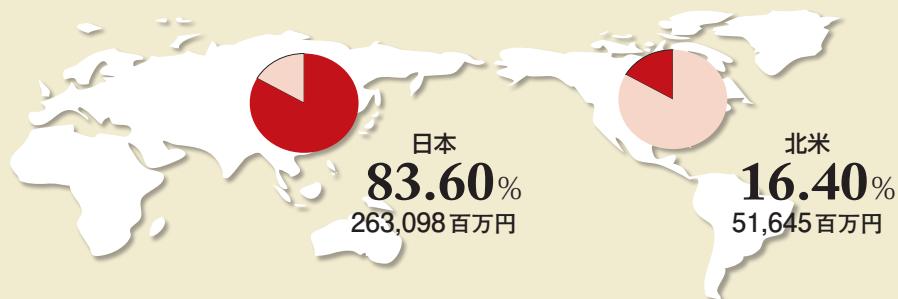
その他部門

売上高 **3,387** 百万円

その他部門は、主に輸入牛肉・輸入加工食品の販売並びに不動産賃貸であり、売上高は前連結会計年度に比べ22.2%減収の3,387百万円、営業利益は前連結会計年度に比べ5.1%増益の

839百万円となりました。

所在地別売上高





連結財務諸表

●連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科目	当期 2008.3.31	前期 2007.3.31
資産の部		
流動資産	100,532	105,083
現金及び預金	29,833	37,141
受取手形及び売掛金	39,276	43,271
たな卸資産	18,931	20,126
繰延税金資産	1,670	1,670
その他	11,065	3,077
貸倒引当金	△244	△205
固定資産	105,511	114,769
有形固定資産	86,503	91,530
無形固定資産	1,851	2,562
投資その他の資産	17,155	20,676
資産合計	206,043	219,852

科目	当期 2008.3.31	前期 2007.3.31
負債の部		
流動負債	41,218	55,456
固定負債	15,724	16,894
負債合計	56,943	72,351
純資産の部		
株主資本	144,114	135,080
資本金	18,969	18,969
資本剰余金	21,412	21,412
利益剰余金	110,734	101,597
自己株式	△7,001	△6,898
評価・換算差額等	△6,337	1,907
その他有価証券評価差額金	340	2,555
繰延ヘッジ損益	△12	△0
為替換算調整勘定	△6,666	△646
少数株主持分	11,323	10,512
純資産合計	149,100	147,501
負債純資産合計	206,043	219,852

連結財務諸表 POINT

会計基準の改正について

2007年4月施行の法人税法により、会計基準を変更しております。

2007年4月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

また、2007年3月31日以前に取得した資産については、改正前の法人税法に基づく減価償却方法の適用により取得価額の5%に到達した連結会計年度の翌連結会計年度より、取得価額の5%相当額と備忘価額との差額を5年間にわたり均等償却し、減価償却費に含めて計上しております。

連結財務諸表 POINT

<連結貸借対照表>

前連結会計年度に比べ、流動負債が142億38百万円減少しております。主な要因は、1年以内に償還予定の社債を全て償還したことによるものであります。

●連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	当期	前期
	2007.4.1～2008.3.31	2006.4.1～2007.3.31
売上高	314,744	321,356
売上原価	199,162	205,365
売上総利益	115,581	115,991
販売費及び一般管理費	95,359	96,420
営業利益	20,222	19,570
営業外収益	3,948	2,779
営業外費用	1,546	803
経常利益	22,623	21,546
特別利益	943	1,390
特別損失	2,051	6,040
税金等調整前当期純利益	21,515	16,896
法人税、住民税及び事業税	8,673	8,741
法人税等調整額	308	1,062
少数株主利益	1,150	915
当期純利益	11,382	6,176

●連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	当期	前期
	2007.4.1～2008.3.31	2006.4.1～2007.3.31
営業活動による キャッシュ・フロー	25,432	20,706
投資活動による キャッシュ・フロー	△6,518	△8,554
財務活動による キャッシュ・フロー	△15,599	△8,172
現金及び現金同等物に係る 換算差額	△2,612	61
現金及び現金同等物の 増加額	701	4,041
現金及び現金同等物の 期首残高	36,868	32,826
現金及び現金同等物の期末残高	37,570	36,868

連結財務諸表 POINT

<連結損益計算書>

前連結会計年度に比べ当期純利益が52億5百万円増加し113億82百万円となりました。主な要因は、減損損失が減少したことによるものであります。

●連結株主資本等変動計算書

（単位：百万円）

	当期（2007.4.1～2008.3.31）										
	株主資本					評価・換算差額等					少数株主持分
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
2007年3月31日残高	18,969	21,412	101,597	△6,898	135,080	2,555	△0	△646	1,907	10,512	147,501
連結会計年度中の変動額											
剰余金の配当			△2,245		△2,245						△2,245
当期純利益			11,382		11,382						11,382
自己株式の取得				△102	△102						△102
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額（純額）						△2,214	△11	△6,019	△8,245	810	△7,434
連結会計年度中の変動額合計	-	-	9,136	△102	9,034	△2,214	△11	△6,019	△8,245	810	1,599
2008年3月31日残高	18,969	21,412	110,734	△7,001	144,114	340	△12	△6,666	△6,337	11,323	149,100



個別財務諸表

●個別貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科目	当期 2008.3.31	前期 2007.3.31
資産の部		
流動資産	73,677	79,286
固定資産	82,425	87,219
有形固定資産	54,591	54,811
無形固定資産	1,712	2,251
投資その他の資産	26,120	30,155
資産合計	156,102	166,506
負債の部		
流動負債	56,212	67,141
固定負債	10,824	10,993
負債合計	67,036	78,135
純資産の部		
株主資本	88,761	85,913
資本金	18,969	18,969
資本剰余金	21,412	21,412
利益剰余金	57,145	54,194
自己株式	△8,765	△8,663
評価・換算差額等	304	2,457
その他有価証券評価差額金	312	2,458
繰延ヘッジ損益	△8	△0
純資産合計	89,066	88,370
負債純資産合計	156,102	166,506

●個別損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	当期 2007.4.1～2008.3.31	前期 2006.4.1～2007.3.31
売上高	214,945	213,814
売上原価	123,432	123,889
売上総利益	91,513	89,924
販売費及び一般管理費	82,001	81,181
営業利益	9,511	8,742
営業外収益	2,917	1,794
営業外費用	1,519	794
経常利益	10,909	9,742
特別利益	862	941
特別損失	1,645	4,890
税引前当期純利益	10,126	5,792
法人税、住民税及び事業税	4,504	3,863
法人税等調整額	425	865
当期純利益	5,196	1,064

●個別株主資本等変動計算書

（単位：百万円）

	当期（2007.4.1～2008.3.31）														
	株主資本										評価・換算差額等			純資産 合計	
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	繰延 ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計		
		資本 準備金	その他 資本剰余金	資本 剰余金合計	利益 準備金	その他利益剰余金									利益 剰余金 合計
固定資産 圧縮積立金						別途 積立金	繰越利益 剰余金								
2007年3月31日残高	18,969	20,155	1,256	21,412	2,593	7,033	42,000	2,567	54,194	△8,663	85,913	2,458	△0	2,457	88,370
事業年度中の変動額															
固定資産圧縮積立金の取崩						△200									
剰余金の配当								△2,245	△2,245		△2,245				△2,245
当期純利益								5,196	5,196		5,196				5,196
自己株式の取得										△102	△102				△102
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額（純額）												△2,145	△8	△2,153	△2,153
事業年度中の変動額合計	-	-	-	-	-	△200	-	3,151	2,951	△102	2,848	△2,145	△8	△2,153	695
2008年3月31日残高	18,969	20,155	1,256	21,412	2,593	6,833	42,000	5,719	57,145	△8,765	88,761	312	△8	304	89,066



支店・営業所

- 札幌支店 (札幌営業所、旭川営業所、函館営業所、帯広営業所)
- 東北支店 (八戸営業所、盛岡営業所、仙台営業所、秋田営業所、山形営業所、福島営業所)
- 信越支店 (新潟営業所、長野営業所)
- 北関東支店 (栃木営業所、茨城営業所、群馬営業所)
- 東京支店 (東京営業所、千葉営業所、神奈川営業所、埼玉営業所、甲府営業所)
- 静岡支店
- 名古屋支店 (名古屋支店、金沢営業所)
- 大阪支店
- 中四国支店 (中国営業所、四国営業所)
- 福岡支店 (福岡支店、沖縄営業所)

冷蔵庫

- 札幌冷蔵庫
- 石狩冷蔵庫
- 大井埠頭冷蔵庫
- 平和島冷蔵庫
- 城南島冷蔵庫
- 東扇島第一冷蔵庫
- 東扇島第二冷蔵庫
- 東扇島第三冷蔵庫
- 名古屋冷蔵庫
- 神戸冷蔵庫
- 舞洲冷蔵庫
- 福岡冷蔵庫
- 佐賀冷蔵庫

工場

- 札幌工場
- 埼玉工場
- 相模工場
- 焼津工場
- 田子工場
- 神戸工場
- 福岡工場

主要グループ企業

【国内連結子会社】

- 八戸東洋株式会社
- 甲府東洋株式会社
- フクシマフーズ株式会社
- 東洋冷凍株式会社
- サンリク東洋株式会社
- 株式会社酒悦
- 新東物産株式会社
- 東部貿易株式会社
- 築地東洋株式会社
- 伊万里東洋株式会社
- 株式会社フレッシュダイナー
- 株式会社東京商社
- 銚子東洋株式会社
- ユタカフーズ株式会社
- 石狩東洋株式会社
- ミツワデイリー株式会社

【海外連結子会社】

- MARUCHAN, INC.
- MARUCHAN VIRGINIA, INC.
- MARUCHAN DE MEXICO, S.A. de C.V.
- SANMARU DE MEXICO, S.A. de C.V.
- PAC – MARU, INC.
- SEAFREEZE LIMITED PARTNERSHIP

【非連結子会社他】

- ヤイズ新東株式会社
- 三幸養魚株式会社
- 埼玉東洋株式会社
- 湘南東洋株式会社
- 東和エステート株式会社
- スルガ東洋株式会社
- 下田東水株式会社
- 海南東洋水産有限公司 (中国)
- 湛江東洋水産有限公司 (中国)
- 株式会社いらご研究所
- 青島味豊調味食品有限公司 (中国)
- 仙波糖化工業株式会社*

※持分法適用関連会社



会社情報 (2008年3月31日現在)

●会社概要

創 立 1953年3月25日
 本 社 〒108-8501
 東京都港区港南二丁目13番40号
 電話 (03) 3458-5111 (代表)

資 本 金 189億6,952万円
 従 業 員 数 1,663名 (男性1,156名 女性507名)
 事 業 所 数 工場7、冷蔵庫13、支店・営業所28
 関 連 会 社 国内関係会社25社
 (うち、連結子会社16社、非連結子会社7社、
 関連会社1社、持分法適用会社1社)
 海外関係会社9社
 (うち、連結子会社6社、非連結子会社3社)

●役 員 (2008年6月26日現在)

代表取締役会長	深川 清司	常勤監査役	北村 勝久
代表取締役社長	堤 股	常勤監査役	南 守之
専務取締役	織田 睦彦	社外監査役	高良 明
常務取締役	成滝 勝郎	社外監査役	森 勇
取 締 役	目羅 甚一		
取 締 役	谷口 文夫		
取 締 役	佐藤 勝英		
取 締 役	山内 寛		
取 締 役	山下 透		
取 締 役	三浪 博行		
取 締 役	菅原 謙二		
取 締 役	小畑 一雄		
取 締 役	手嶋 専市		

●情報満載の当社HPもご覧ください。

<http://www.maruchan.co.jp/>



昨年ホームページに、新しいコンテンツ「マルちゃんのおいしさ探検隊」、
「赤いきつね・緑のためき」のブランドサイトが開設されました。

●マルちゃんのおいしさ探検隊



このバナーからお楽しみいただけます。

「マルちゃんのおいしさ探検隊」は、カップ麺の製造工程やおいしさの秘
密を、楽しいクイズや分かりやすい映像で解説した子ども向けの内容です。

●「赤いきつね・緑のためき」ブランドサイト



また、「赤いきつね・緑のためき」のブランドサイトは、赤いきつねの歴
史や、最新の商品ラインナップ・CMの紹介、ゲームなど盛りだくさんの
内容です。発売30周年を迎えた赤いきつねの味のこだわりやパッケージ
デザインの変遷など、ご興味のある方は是非一度ご覧ください。



株式情報 (2008年3月31日現在)

●株式の状況

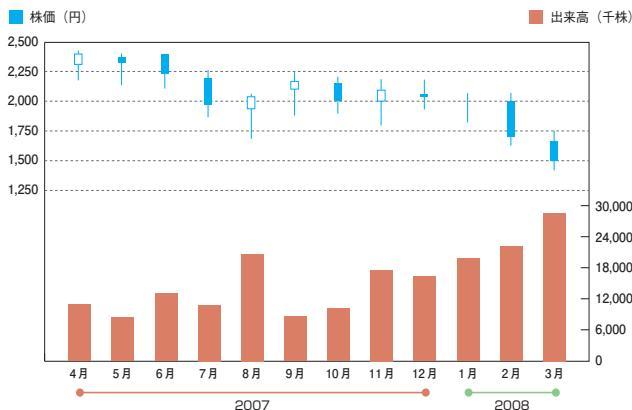
発行可能株式総数 427,000,000株
 発行済株式の総数 110,881,044株
 株主数 6,393名

●大株主の状況

株主名	持株数 (千株)	出資比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	10,822	10.61
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	6,170	6.05
株式会社三井住友銀行	2,900	2.84
SAJAP	2,300	2.25
マルちゃん持株会	2,175	2.13
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	2,115	2.07
ドイチェバンクAG ロンドンPB ノントリティー クライアーツ 613	2,028	1.99
あいおい損害保険株式会社	2,000	1.96

(注) 出資比率は自己株式 (8,842,092株) を控除して計算しております。
 (注) 出資比率は小数点以下第2位未満を四捨五入してを控除して計算しております。

●株価及び売買高の推移 (東京証券取引所)



●所有者別株式分布状況



●所有株数別株式分布状況



株主優待制度

当社では、株主の皆様への利益還元策の一環としまして、ご所有の株式数に応じて自社製品の詰め合わせを進呈する株主優待制度を導入しています。

今年につきましては、3月末現在、1,000株以上ご所有の株主様に対し3,000円相当の自社製品を、3,000株以上ご所有の株主様に対し5,000円相当の自社製品をそれぞれ6月に進呈させていただきます。



3,000円相当の製品例

●株式事務手続きのご案内

当社の株式事務を取扱っております中央三井信託銀行では、株主の皆様の住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求及び配当金振込指定などの用紙のご請求を電話及びインターネットのホームページで24時間受付しておりますので、どうぞご利用ください。

●電話によるご請求

受付フリーダイヤル 0120-87-2031 (操作方法は、音声案内にしたがってください。)

●インターネットによるご請求

ホームページアドレス http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html

※証券保管振替制度をご利用の方は、恐れ入りますが、お取引の証券会社へご相談ください。

●株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日
定時株主総会	6月
基準日	期末配当は3月31日 中間配当を行う場合は9月30日
公告方法	電子公告 ただし、電子公告できない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 (アドレス) http://www.maruchan.co.jp/
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社 本店
同事務取扱所	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話0120-78-2031 (フリーダイヤル)
同取次所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店
単元株式数	1,000株
上場証券取引所	東京証券取引所 (市場第一部)

マルちゃん 雑学館 Vol.8

幸稲荷神社に赤いきつね？



東洋水産の本社には、食物の神様である「稲の靈魂」を祀った小さな稲荷神社があります。1961年、食品メーカーとしての発展を祈り、東京芝公園にある「幸稲荷神社」の御分霊が祀られました。

稲荷神社と云えば、赤い鳥居と境内に並ぶ赤いのぼり。そして、神様のお使いといわれる赤い前掛け姿のきつねの像。お稲荷さんと赤色ときつねは、不思議な縁で結ばれているようです。

1978年に発売された赤いきつねは、お稲荷さんのご利益も手伝ってか、お陰様で今年発売30周年を迎えることが出来ました。春と秋に行われる稲荷神社の例大祭には、今年も感謝の気持ちを含めて、赤いきつねをお供えしたいと思います。

東洋水産株式会社



〒108-8501 東京都港区港南二丁目13番40号
TEL (03) 3458-5111 (代表)

ホームページ <http://www.maruchan.co.jp/>



本冊子は、環境保全のため再生紙を使用し、大豆油インキで印刷しています